

製品名: Skp2 p45 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17936**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	47kDa

抗原情報

遺伝子名	SKP2
別名	SKP2; FBXL1; S-phase kinase-associated protein 2; Cyclin-A/CDK2-associated protein p45; F-box protein Skp2; F-box/LRR-repeat protein 1; p45skp2
遺伝子 ID	6502.0
SwissProt ID	Q13309
免疫原	抗血清はヒト SKP2/p45 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 366-415

背景

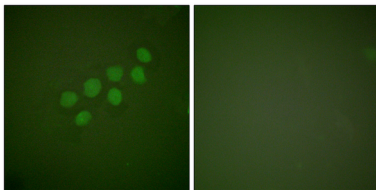
この遺伝子は、約 40 アミノ酸のモチーフである F ボックスを特徴とする F ボックスタンパク質ファミリーのメンバーをコードしま

す。Fボックスタンパク質は、リン酸化依存性ユビキチン化に機能する SCF (SKP1-cullin-F-box) と呼ばれるユビキチンタンパク質リガーゼ複合体の4つのサブユニットの1つを構成します。Fボックスタンパク質は、WD-40ドメインを含む Fbws、ロイシンリッチリピートを含む Fbls、および異なるタンパク質間相互作用モジュールまたは認識可能なモチーフを含まない Fbxs の3つのクラスに分類されます。この遺伝子によってコードされるタンパク質は Fbls クラスに属し、Fボックスに加えて、10個のロイシンリッチリピートが直列に並んでいます。このタンパク質は、サイクリン A-CDK2 S期キナーゼの必須要素です。細胞周期の進行、シグナル伝達および転写に関する標的タンパク質のユビキチン化とそれに続くプロテアソーム分解を媒介する SCF (SKP1-CUL1-Fボックスタンパク質) E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の基質認識コンポーネント。リン酸化 CDKN1B/p27kip を特異的に認識し、G1/S 遷移の調節に関与しています。CDKN1B/p27kip の分解には CKS1 も必要です。標的タンパク質 ORC1L、CDT1、RBL2、MLL、CDK9、RAG2、FOXO1A、UBP43 を認識し、おそらく MYC、TOB1、TAL1 も認識します。TAL1 の分解には STUB1 も必要です。CCNE1 または CCNE2 および CDK2 と共存する CDKN1A を認識します。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。類似性: 1つのFボックスドメインを含みます。類似性: 8つのLRR (ロイシンリッチ) リピートを含みます。サブユニット: CUL1、RBX1、SKP1、SKP2 からなる SCF(SKP2)複合体の一部です。CUL1 および SKP1 と直接相互作用します。CKS1 と相互作用します。サイクリン A-CDK2 複合体と相互作用します。ORC1L、リン酸化 CDT1、リン酸化 RBL2、ELF4、リン酸化 RAG2、FOXO1A、UBP43、MYC、TOB1、TAL1、MLL と相互作用します。、

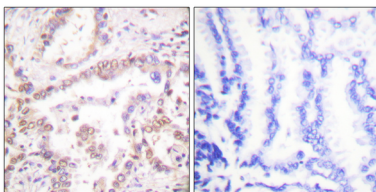
研究分野

Cell_Cycle_G1S;Cell_Cycle_G2M_DNA;ユビキチンを介したタンパク質分解;がんにおける経路;小細胞肺がん;

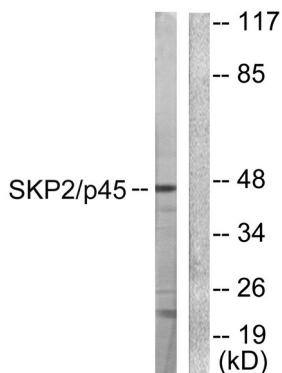
画像データ



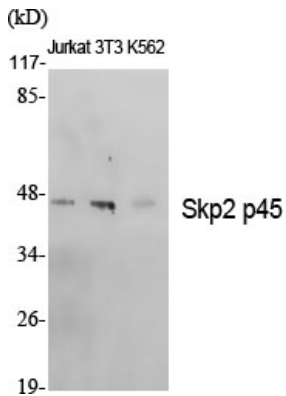
SKP2/p45 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



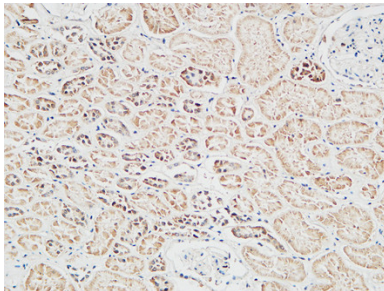
SKP2/p45 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



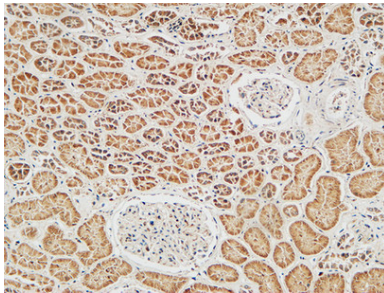
SKP2/p45 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



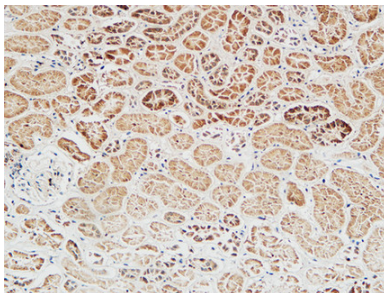
Skp2 p45 ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト右腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト右腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト右腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。